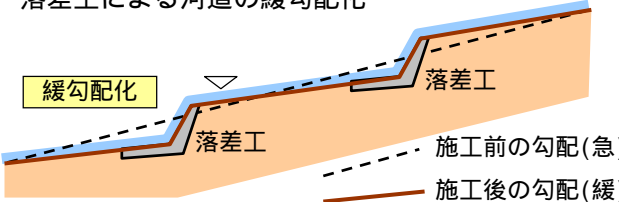
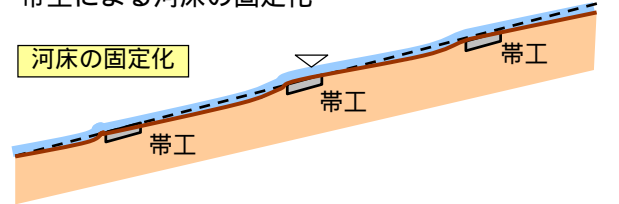
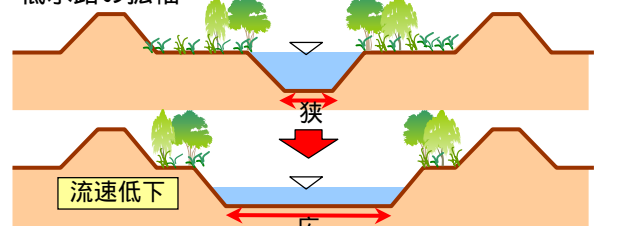
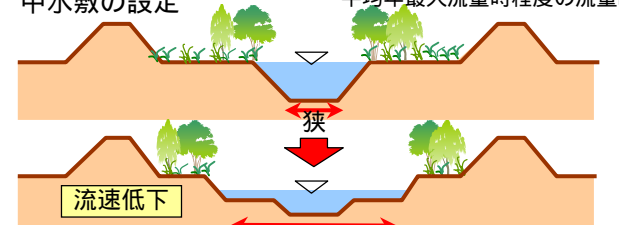


### 3-2 一般的な河床低下対策

一般的な河床低下対策は以下に挙げるように当該箇所の各種条件に応じた最適な対策を講じます。

	対策案	解説	留意すべき点
下流への土砂流出量低減	<p>落差工による河道の緩勾配化</p> 	<p>落差工による河道の緩勾配化により、下流への土砂流出量を低減する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な魚道の配置</li> <li>カヌー利用への配慮</li> </ul>
	<p>帯工による河床の固定化</p> 	<p>帯工による河道の固定化により、下流への土砂流出量を低減する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な魚道の配置</li> <li>カヌー利用への配慮</li> </ul>
	<p>低水路の拡幅</p> <p>平均年最大流量時程度の流量時</p> 	<p>低水路を拡幅して水深の低下および流速の低減を図ることで、下流への土砂流出量を低減する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>堤防の安全性確保</li> <li>河川環境として重要な河原の保全・再生</li> </ul>
	<p>中水敷の設定</p> <p>平均年最大流量時程度の流量時</p> 	<p>中水敷を設定し水深の低下および流速の低減を図ることで、下流への土砂流出量を低減する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>堤防の安全性確保</li> <li>河川環境として重要な河原の保全・再生</li> </ul>

### 3-3 弟子屈地区の現況

近年、弟子屈地区についても河床低下が進行し、護岸の維持管理の問題や、河床低下対策としてブロックの積み上げによる帯工により河床低下対策を図っている状況にあります。

本区間においても、河床低下、河川環境、景観など総合的な観点からの河床低下対策による抜本的な整備が必要な状態にあります。

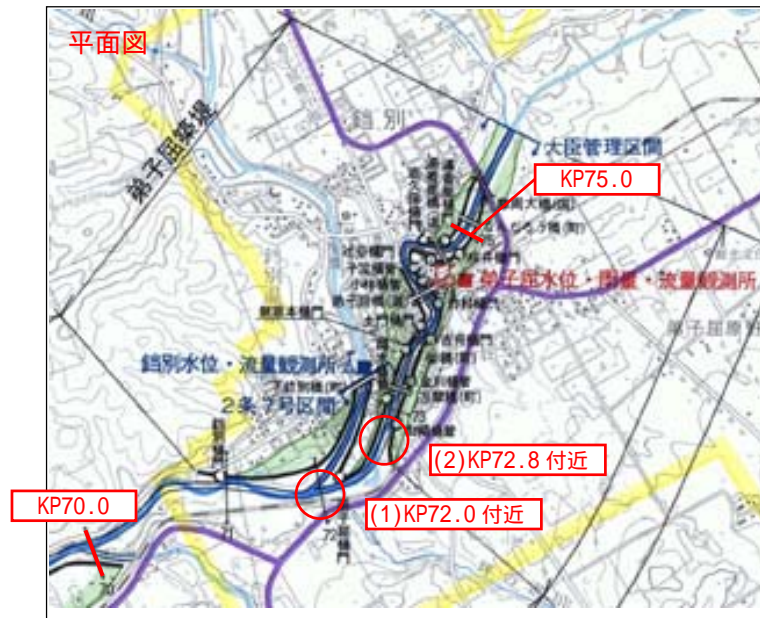


図 2-12 弟子屈地区 平面図



写真 2-1 帯工による河床低下対策の状況

### 3-4 今後の釧路川の川づくりとして

現在、釧路川の当該区間で発生している河床低下対策は検討中の状況ですが、今後は「治水」「環境」「土砂」の観点にも配慮した上で、以下の一例のような改修を、地域とも連携しながら、最適な方法ですべてしていきます。

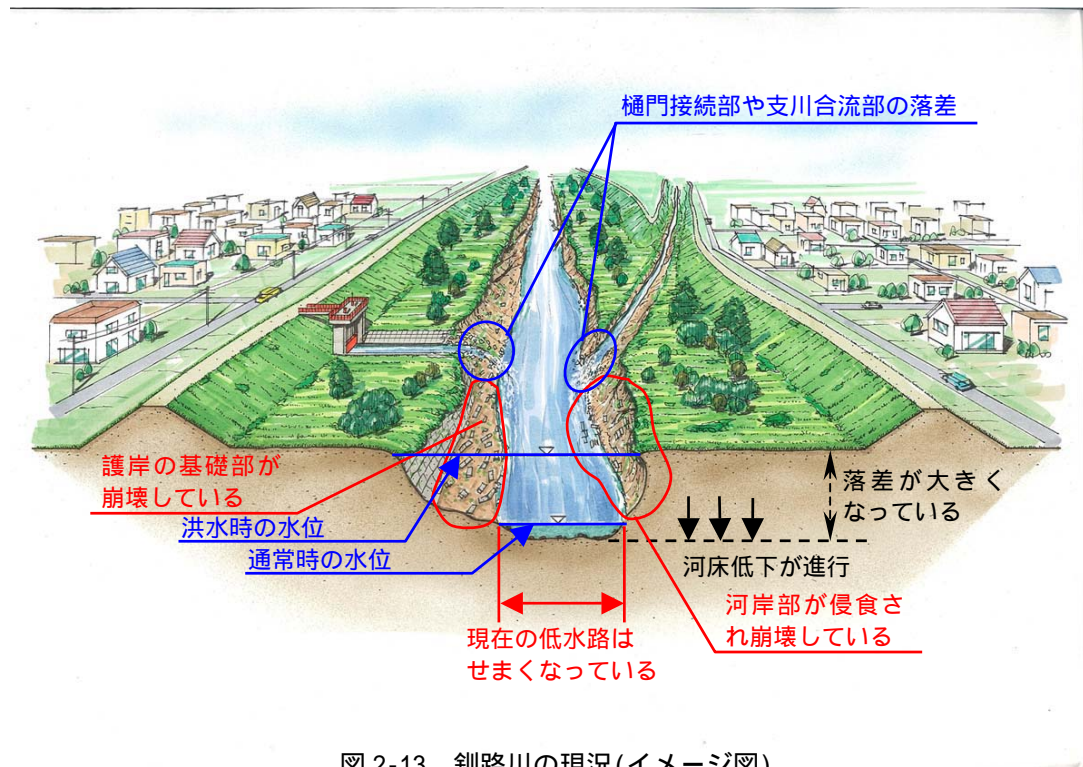


図 2-13 釧路川の現況(イメージ図)



- ・中水敷にすることで、流速の低減および水深の低下を図ります。
- ・また、広くなった中水敷内で蛇行をある程度、許容します。
- ・これにより、下流への土砂流出量を低減します。

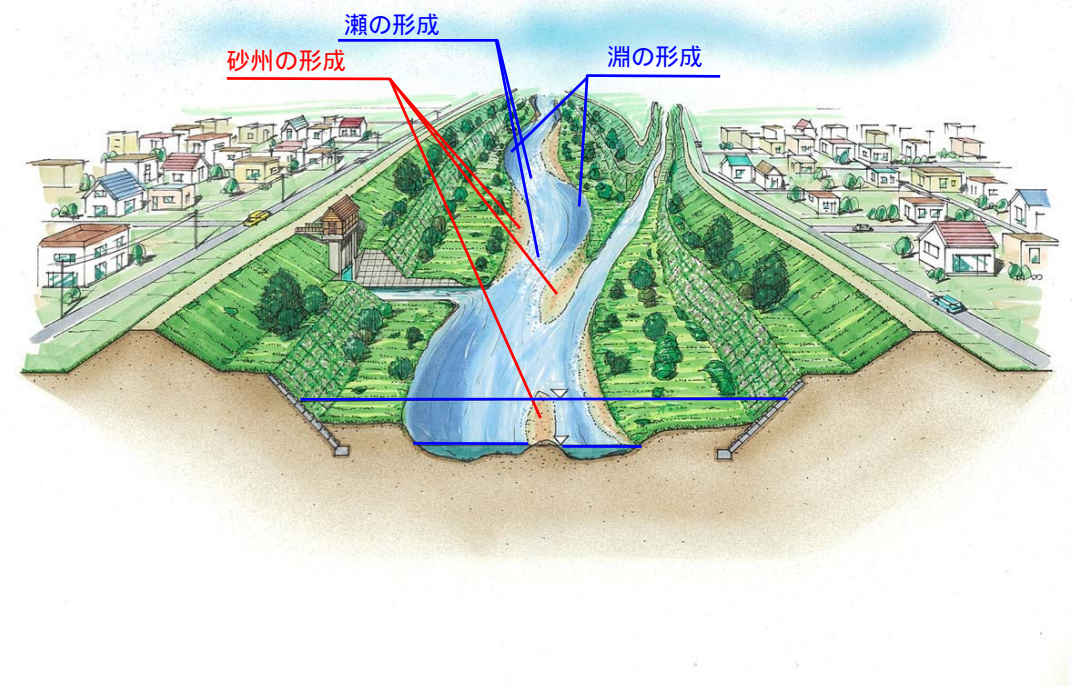


図 2-14 今後の改修案の一例(中水敷案、イメージ図)

- ・帯工による河道の固定化により、下流への土砂流出量を低減します。
- ・この際、魚類の遡上にも配慮した構造(緩勾配)にします。
- ・また、流水に変化を与えることで、多様な水の流れを創出できます。

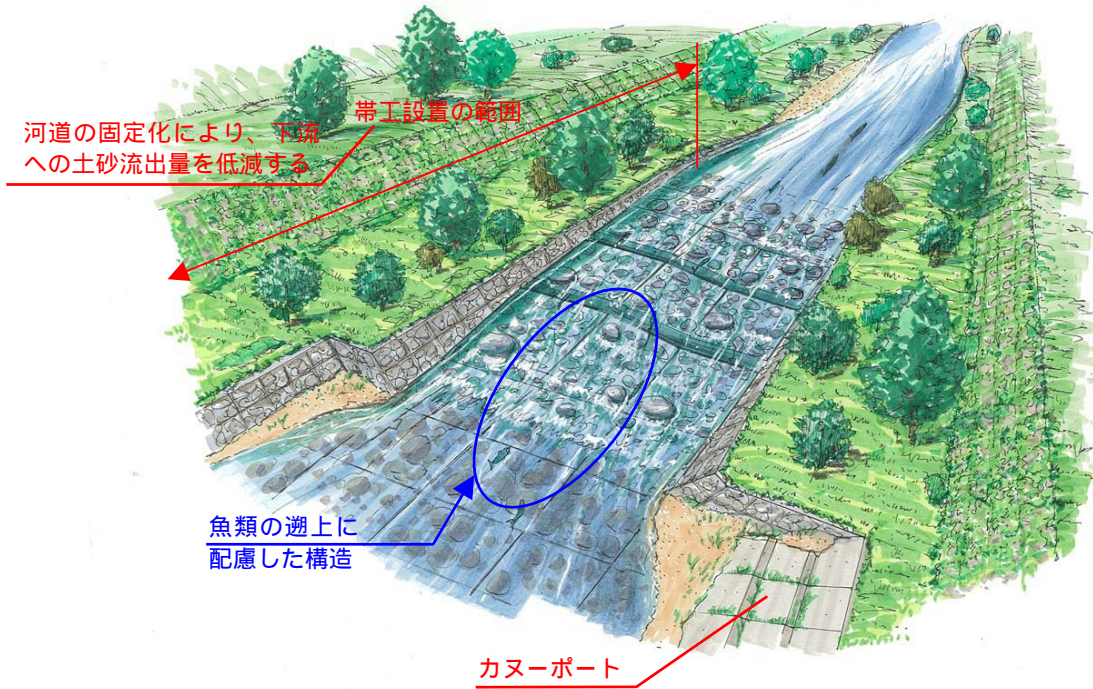


図 2-15 今後の改修案の一例(帯工案、イメージ図)